

記載例その1

中小企業等省エネルギー設備導入支援補助金 申請書

申請日 (2024/5/27~
2024/6/26、17時必着)

2024年〇月〇日

一般財団法人旭川産業創造プラザ
理事長 新谷 龍一郎 様

・法人の場合は、法人登記地、個人の場合は納税地で記載
・個人は屋号を記載
・押印不要

(申請者)
所在地 旭川市〇〇 〇丁目〇〇番〇号
企業等名称 (株) サンプラ食品
代表者職氏名 代表 産業 つくる

中小企業等省エネルギー設備導入支援補助金を希望するため、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第1号-1「補助事業計画名(30文字以内)」と名称を統一し記載。
※採択時に公表します

1 補助事業計画名 スチコン導入で生産拡大と省エネを実現

2 補助事業実施期間
着手 2024年 〇月 〇日
完了 2024年 〇月 〇日

補助対象期間は、2024年4月1日から2024年12月31日までになり、同期間内に発注・納入・検収・支払等のすべての手続きが完了する補助対象経費が対象となります。

3 総事業費 1,265,000円

4 希望補助額 862,000円 (千円未満切り捨て)

5 添付書類

・補助率 3/4 (上限 200万円) (1,000円未満切り捨て)
・様式1-1事業費の補助申請額と同じ額を記載

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (3) 市税の納税証明書 (市税の滞納のないことの証明書)
- (4) 法人事業概況説明書 (※法人)、または確定申告書第1表 (※個人)
- (5) 直近の決算書
- (6) 履歴事項全部証明の回し (※法人のみ)

個人事業主の場合

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (3) 市税の納税証明書 (完納)
- (4) 確定申告書第一表
- (5) 決算書 (青色又は白色)
- (6) 省エネルギー等の算出に使用したカタログ

法人の場合

- (1) 事業計画書 (様式第1号-1)
- (2) 誓約・確認書 (様式第9号)
- (3) 市税の納税証明書 (完納)
- (4) 決算書
- (5) 法人事業概況説明書
- (6) 履歴事項全部証明書
- (7) 省エネルギー等の算出に使用したカタログ

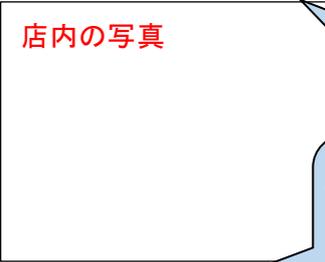
※1: カタログ・見積書などあれば添付

申請日 (2024/5/27~
2024/6/26、17時必着)

2024 年〇月〇日

事業計画書

■申請者

商号又は名称	(株) サンプラ食品			
業種	食品加工業	創業・設立	2017年9月25日	
資本金 (法人の場合)	1000千円	従業員数	10名	
連絡者	所属	—	職氏名 代表・産業 つくる	
連絡先	TEL	090-XXXX-YYYY	FAX —	
URL	http://www.facebook.com/hp.izakaya-sanpla			
E-mail	xxxxxxxxxx@gmail.com			
	<p>当社は、地場で生産された食材でプリンなどの菓子を製造する会社です。 これまでに、濃厚〇〇プリンやなめらか〇〇チーズケーキをはじめとする菓子を製造し、道内小売店をはじめ近年では関東への出荷など、年々需要の高まりにより生産効率を高める努力をしています。</p>			
	<p>店内の外観</p> 	<p>店内の写真</p> 	<p>まず、自社がどんな店かを説明します。</p>	
	<p>当店の内外環境分析 (SWOT分析)</p>			
会社概要及び 内外環境分析	<p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道産原料に一工夫加えた菓子の製造 ・鮮度にこだわった原料の調達ルートを確認 ・〇〇スーパーでの販売の効果で営業に注力なく販売先が拡大 	<p>弱み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りのため増産計画が立たない。 ・工場内が狭く生産効率が悪い。 ・生産ノウハウの継承が進まない。 ・特にプリンの需要に増産が追いつかない 		
	<p>機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東圏小売店からの引き合いが近年拡大 	<p>脅威</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重労働による作業員の健康問題と高齢化 ・食材・水道光熱費の高騰 		
				<p>写真や表の挿入方法、SWOT分析についてはネットで検索すると情報入手できます。</p>

こちらには自社の現在の状況（創業から現在まで）と、客観的に見た内部外部環境（自社の強み・弱み・機会・脅威 ※SWOT分析といます）について記載ください。

<p>当社のこれまでの売り上げと主要な製品 主要となる製品は、濃厚〇〇プリン、なめらか〇〇チーズケーキ、濃密〇〇杏仁豆腐の3品です。 (千個/年)</p>				
	R2年	R3年	R4年	R5年1
濃厚〇〇プリン	8	15	18	19
なめらか〇〇チーズケーキ	4	8	11	15
濃密〇〇杏仁豆腐	2	3	5	9
<p>主要3品のうちチーズケーキと杏仁豆腐は現在の工場の規模でも生産の余力があり、販路拡大への対応に不安がないため、今後の売り上げ拡大の主力になっています。</p>				

申請者概要 (※法人のみ)

株主及び出資者			
主な株主又は出資者		大企業の確認及び出資比率	
①		<input type="checkbox"/>	%
②		<input type="checkbox"/>	%
③		<input type="checkbox"/>	%
④		<input type="checkbox"/>	%
⑤		<input type="checkbox"/>	%

役員一覧表			
役職名	氏名	大企業の確認及び会社名	
		<input type="checkbox"/>	

■事業計画

様式1の補助事業計画名と合わせてください。

※枠内に収まらない場合は別紙で提出して下さい。

補助事業計画名 (30文字以内) ※採択時に公表します	スチコン導入で生産拡大と省エネを実現	
補助事業概要 (100文字以内) ※採択時に公表します	スチームコンベクションオーブンを導入することで、主要製品であるプリンの生産量を拡大するとともに、従来の生産過程のエネルギー損失を抑えて省エネルギー化を図る。	
設備導入場所	施設名	(株) サンプラ食品
	住所	旭川市〇〇 〇丁目〇〇番〇号

申請時に比較対象となる設備（旧型）のカタログを提出ください。

1. 新製品・新サービスの開発や生産性向上に関する課題

主要3商品のうち、チーズケーキと杏仁豆腐については、現行の冷蔵庫に余力が十分にあるので、当面の需要拡大に対応する目途はたっています。しかし、プリンについては稼働中のオープン（△△社製型式□□□□）の容量と天板の段数が少ないため、下ごしらえ数に対して慢性的な蒸し焼き工程の渋滞が発生しています。また、稼働中のオープン本体の老朽化のためか断熱性能が劣化し本体の外壁が思いのほか高温になりエネルギーロスが発生していると考えられます。このことは、昨今の電気代高騰と相まって経営を圧迫するものとなっており、一回の生産量の拡大と省エネルギー化の両立が喫緊の課題と考えています。

2. 補助事業の具体的内容（課題解決と申請条件達成）及びスケジュール

※新製品・新サービスの開発に必要な性能、又は5%以上の生産性向上を示す根拠となる計算式と説明を記載してください。

申請時に比較対象となる設備（新型）のカタログを提出ください。

●設備導入の具体的内容

稼働中のオープンからスチームコンベクションオープン（〇〇社製型式△△△△）に更新、蒸し焼きの渋滞の解消と省エネルギーの両立を実現します。また、導入するスチームコンベクションオープンは庫内の熱ムラが新技術により大幅に解消されていることから、現在5~8%程度となる蒸し焼きの過程におけるロスの発生を大幅に減らすことができるため、原材料費の圧縮や廃棄にかかるコストの低減という効果も期待できます。また、近年農林水産省や消費者庁が注目するフードロスの低減にも貢献できる設備投資であると考えます。

導入予定 設備

導入予定 加工場

文字だらけの計画書となると読みにくくなるため、計画書はなるべくイメージ画像や表、グラフなどを用いることを心がけましょう。

●予定する生産性の向上の根拠

【設備導入前後比較】

	導入前	導入後
一回の生産数	〇〇個	〇〇〇個
一回のロス数	〇個（平均6%）	〇個（予定1%未満）
実質生産数	〇〇個	〇〇〇個

設備の導入前後でどのような場面にどのような効果（差）があるのか、表にして直感的に比較できるようにするなど、工夫しましょう

【蒸し焼き一回当たりの生産性向上（%）】

$$〇〇〇個（導入後） \div 〇〇個（導入前） \times 100 = \Delta\Delta\Delta\%（\Delta\%の向上）$$

よって、生産性向上5%以上については、△△△%の生産性向上が概算上達成できます。

生産性が5%以上向上すると予定している根拠となる数値と、その計算式を書きましょう。

●スケジュール

取組内容／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
見積取得						●			
納品							●		
支払								●	
完了報告提出									●

3. 年間エネルギー消費量が概ね5%以上低減する設備との比較

※同じ基準（基準となる時間や生産量等）における消費エネルギーの5%程度の低減を示す根拠となる計算式と説明を記載してください。

【製品100個当たりの消費エネルギーの比較】

	導入前	導入後
実質生産数	〇〇個	〇〇〇個
消費電力	1300W	1500W
加熱時間	△△分	▲▲分

●導入前の製品100個当たりの消費エネルギー指数

$$100 \text{ (個)} \div 〇〇 \text{ (個)} \times 1300 \text{ (W)} \times \triangle\triangle \text{ (分)} = a$$

●導入後の製品100個当たりの消費エネルギー指数

$$100 \text{ (個)} \div 〇〇〇 \text{ (個)} \times 1500 \text{ (W)} \times \blacktriangle\blacktriangle \text{ (分)} = b$$

●消費エネルギーの比較 (%)

$$b / a \times 100 = 85.7 \text{ (\%)} \quad \cdots \quad 14.3\% \text{ の消費エネルギーの低減}$$

消費エネルギーが5%以上低減すると予定している根拠となる数値と、その計算式を書きましょう。

よって、製品100個当たりの消費エネルギーは14.3%の低減を見込

ここでは「2. 補助事業の具体的な内容及びスケジュール」で示した内容により、改善される内容や見込まれる好影響について、論理的かつ具体的に記載してください。

4. 補助事業実施（課題解決）によって期待される効果

●本事業を実施することによって得られる効果は以下の○点です。

(1) 製品100個当たりの消費エネルギーの大幅低減

「3. 年間エネルギー消費量が概ね5%以上低減する設備との比較」にて示したように、製品100個当たりの消費エネルギーが大幅に低減するため電気使用量の低減が見込まれるとともに、微力ながら温室効果ガスの排出量削減に寄与し、温暖化対策に貢献できると期待できます。

(2) 拡大する需要への対応が可能

販路拡大による需要への対応が難しかった生産体制が大幅に改善するため、販路拡大という機会を逃すことなく売り上げにつながることが期待できます。

●地域への波及効果等

本事業の取組みを実施することにより、〇〇〇分野において、〇〇〇に貢献することが可能であり、〇〇を導入した施設が増えることで、地域への還元が見込めます。また、近年注目される生産過程のフードロスへの貢献が期待でき、同業種等のモデルケースとして積極的に啓蒙することで、地域のフードロスへの貢献と意識向上が期待できます。

■事業費

(1) 経費明細書

(単位：円)

経費区分 (対象経費の区分)	(A) 事業に要する 経費 (税込みの額)	(B) 補助対象経 費 (税抜き額)	(E) 積算基礎 ((A) 事業に要する経費の内訳 (機械装置名、単価×数量等))	設備等の設置住所 (旭川市春光5-1 等)
設備費	1,265,000	1,150,000	〇〇製スチームコンベクションオープン〇〇-XXX	旭川市〇〇-●
合計額	1,265,000	1,150,000		

補助金は、清算・報告までの全てを完了させたのちに交付されます。したがってこちらには交付までの間の「補助金額」にあたる部分の資金繰りについてご記入ください。

(2) 資金調達内訳

(単位：円)

<補助事業全体に要する経費調達一覧>

<補助を受けるまでの資金>

区分	事業に要する経費	資金の調達先
自己資金	265,000	
補助申請額	862,000	
借入金	138,000	〇〇信金
その他		
合計額	1,265,000	

区分	補助申請額内訳	資金の調達先
自己資金	0	
借入金	862,000	〇〇信金
その他	0	
補助申請額	862,000	

金融機関から13万8000円借りて残りを自己資金で賄う場合を想定

消費税を除いた補助対象経費から補助率3/4をかけて千円以下切り下げ
 $1150000 \times 3 \div 4 = 862,500$ にて 862,000

■収益計

(1) 今後3年間の収益計画

(単位：千円)

項目	直近の 決算年度 2023年3月	1年後 2024年3月	2年後 2025年3月	3年後 2026年3月
売上高(a)	15,000	15,380	17,325	19,058
売上原価(b)	6,000	6,152	6,930	7,623
売上総利益(c) = (a)-(b)	9,000	9,228	10,395	11,435
経費(d) = (e)+(f)	1,500	1,500	2,000	2,000
人件費(e)	1,000	1,000	1,500	1,500
その他の経費(f)	500	490	500	500
営業利益(g) = (c)-(d)	7,500	7,738	8,395	9,435

前述の収益計画の売上増加等の根拠となる事柄をこちらでご説明ください。

(2) 収益計画の算出根拠

導入後の一年間は、先の生産性向上〇.〇%を受けての売上と電気代の低減から〇.〇%の増益を見込んでいます。2年後以降は、現在引き合いのある販売先への供給および既存販路の需要拡大から、年平均5~7%の売上向上を見込んでいます。また、電気代の低減により生産量の増加

に対して経費を維持できることが試算で確認されていることから、営業利益は年 15%以上の向上を見込んでいます。

■補助金等採択及び申請実績（過去 3 年間）

年度	補助事業名	事業計画名	補助金額
2022 年度	スタートアップ・生産性向上支援補助金	製品の在庫の品質向上を目的とする急速冷凍庫の導入	1,000,000 円

直近 3 年の間に、国や各自治体、又はそれらに類する団体等から補助金又は助成金を受けている場合には、こちらにその名称等を正確にご記入ください。

- ※ 様式 1 号一 1 事業計画書の記入欄は適宜調整し、8 ページ以内で作成してください。
- ※ 必要な参考資料等を添付してください
- ※ 説明資料等や図面等があれば添付してください。
- ※ 提出された申請書類等は返却いたしませんので必ず控えを保管ください。